

合同常任委員会

定例会3日目に、総務・文教厚生・経済建設の合同常任委員会を開催。提案された議案の詳細について、執行部に説明を求めた。

復興基金の詳細を

〈丸野議員〉

1億円余りの復興基金が歳入に計上されている。どのように使われるのか。また被害調査は終わっているのか。

〈政策審議監〉

県の復興基金総額510億円の内、県議会が12月補正で約26億円を計上した。国の補助対象外のものを救済する目的の基金だ。今回村では、公民館の復旧、地域コミュニティの、抛り所である神社・仏閣の再建に充てる。

〈教育委員会事務局長〉

公民館や神社・仏閣等の被害調査は区長会に依頼している。一次調査の概算で約2億円の被害だ。

〈復興推進室長〉

被害総額2億円の4分の3を補助する。1億円を県の復興基金、5千万円を村の災害復興基金を取り崩して充てる計画だ。

ふるさと寄付金の使い道は

〈桐原議員〉

ふるさと寄付金が今回、8千万円追加された。その合計と使い道は。一般財源化する考えはないか。

〈総務課長〉

11月末現在の合計が3億5700万円程度。全て一般会計に組み込み、震災対応事業の財源にしたい。

大津町にいる生徒の通学支援は

〈笠野議員〉

12月24日には俵山トンネルが開通する。いま大津町の中学校に通う子供たちを送迎して、村内で学ばせる事はできないか。

〈教育長〉

大津町は村と違い2学期制。3月まで現状のままで、4月以降、南阿蘇中学校・南西小に復学したい生徒が何人いるかアンケートを取った。村が送迎を補償するならと半数が復学を希望した。4月以降のクラス編成も考え、しっかりと詰めていきたい。

〈丸野議員〉

大津町から村に通う生徒たちの送迎を3学期からでもできないか。

〈教育長〉

現在、該当する生徒が6、7名いる。開通したら俵山ルートがどれぐらい、かかるか試走したい。それを受け、保護者代表から了解が得られたら送迎をしたい。

災害公営住宅の計画は

〈太田議員〉

災害公営住宅の設計委託料が計上されているが、具体的な計画は進んでいるのか。

〈建設課長〉

現在、住民説明会や住民アンケート等を行っている段階で、まだ正式決定していない。県が倒壊家屋数から算定し、概算の数字を予算化した。具体的には住民説明会での意見を聞いた上で決定したい。

〈山室議員〉

まだ計画段階との事だが、来年度の当初予算で始めないと遅れてしまう。戸建てか、集合住宅にするかな

ど、復興住宅の方針は考えているのか。



山古志地区の災害公営住宅

〈復興推進室長〉

今回は災害公営住宅分を計上している。他には、各集落に戸建てを建てる小規模住宅改良事業、災害防災集団移転もある。今後、集落の要望意向に沿って進めていきたい。

自費解体費用補助金は

〈橋本議員〉

4759万円が計上されているが、その説明を。また、支払いは進んでいるのか。

〈環境対策課審議員〉

140棟の申請があると想定している。総額は2億円程を見込み、今



大津町から通う子供たち